

実験5 水にとけた物質のとり出し

目的

準備

- ☐塩化ナトリウム☐硝酸カリウム☐ミョウバン☐ビーカー（500cm³）
- ☐メスシリンダー☐試験管（5）☐試験管立て☐温度計☐ガラス棒☐薬さじ
- ☐三脚☐金網☐ガスバーナー☐ろうと☐ろうと台☐ろ紙
- ☐ルーペ（または顕微鏡）☐スライドガラス（3）☐電子てんびん（または上皿てんびん）
- ☐マッチ☐安全眼鏡

方法

- ① 3本の試験管A～Cに水を5cm³ずつ入れる。
- ② 図1のように、試験管Aには塩化ナトリウム3g，試験管Bには硝酸カリウム3g，試験管Cにはミョウバン3gを入れて振り混ぜる。
- ③ 図2のように、試験管A～Cを加熱し、温度を50℃まで上げて、それぞれの物質が全部とけるか調べる。
- ④ 試験管A～Cを水を入れたビーカーに入れ、水溶液を冷やす。

・③で物質のとけ残りがあった場合は、上澄み液を新しい試験管に移してからその試験管を水で冷やして、中のように観察する。
- ⑤ 試験管の水溶液をろ過したり、水を蒸発させたりして、出てきた物質をルーペや顕微鏡で観察する。

・④でとけていた物質が出てきたら、スライドガラスにのせて観察する。

・④でとけていた物質が出てこない場合は、水溶液をスライドガラスにのせて水を蒸発させ、観察する。

図1

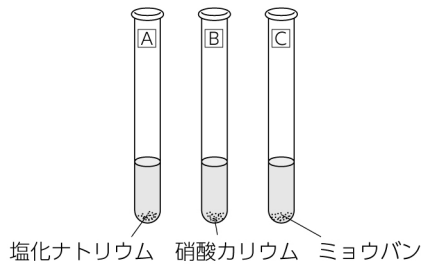
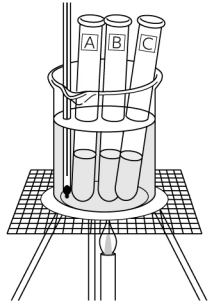


図2



結果 それぞれの結果を表にまとめる。

試験管	A：塩化ナトリウム	B：硝酸カリウム	C：ミョウバン
50℃で全部とけたか			
冷やしたときのように			
水を蒸発させたときのように			
粒のように			

考察

まとめ